

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail:club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1804回

<ソング>それこそロータリー
<ソングリーダー> 山田昭雄君



2008-2009年度 RIテーマ
夢をかたちに
李 東建



ムスカリ

写真提供：事務局

会長報告

青島 克郎君

藤枝市岡部町の竹下奈津紀さんが2010-2011年度のロータリー財団国際親善奨学金のマルチイヤー奨学金の申請するため推薦クラブとして仲田幹事、酒向奉仕プロジェクト委員長同席の上面接を行い書類をガバナー事務局に提出いたしました。

竹下さんは現在中部大学大学院工学研究科で建築工学を専攻しています。2000年に国立沼津工業高等専門学校の制御情報工学科に入学しプログラミングを勉強していましたが建築工学に強い関心を持つようになり歴史や文明と建築の関わりに魅力を感じ生涯の仕事として探求をしたくなり2007年に中部大学大学院に編入学しました。現在大学院の中村研一研究室に所属し人と人、人と建築、建築と環境や社会という様々な関連性や哲学と建築について研究をしているそうです。

彼女の希望する留学先オランダは建築の先進国で、数多くの有名な建築家が活躍する国でもあり建築の世界では世界から注目をされる国です。特に目指すデルフト工科大学はヨーロッパで最も大きな建築学部を持ち世界中から多くの学生が集まり勉強をしています。

この国際親善奨学金はロータリー財団のプログラムの1つで、選ばれた奨学生は他国の教育機関で勉強することにより異なる国民間の理解と友好関係に寄与することと非公式の親善使節としての活動を行い国際感覚を身につけます。

単に高等教育を受けるためのものではなく留学先でのロータリークラブとのつき合いも必要にな

ります。かつてこの制度を利用し留学された国連難民高等弁務官をしておられた緒方貞子さんのように勉学後に世界平和のために貢献されることが望まれます。

竹下さんの面接をした結果、自分のやりたいことが明確でその実現のための熱意が伝わってきて相当な努力もされているという印象でした。地区での選考審査会は5月17日ですが過去にも当クラブが推薦し残念ながら選考に漏れた人も多く合格はかなりハードルが高いと思われます。合格の発表は6月ですが合格すれば7月から1年間の研修、準備期間の後、来年7月からの留学となります。出来れば当クラブが推薦した国際親善奨学生として竹下さんが選ばれ念願のオランダ、デルフト大学へ留学し思う存分勉強しやがて世界の建築家として成長し活躍できることを期待いたします。

幹事報告

仲田 廣志君

・ザ・ロータリアン誌が届いております。

出席報告

山田 昭雄君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
25 / 37 67.57%	22 / 36 61.11%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

青島彰君 杉山君 鈴木勝君 春原君
平君 鈴木廣君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君
仲田晃君 水野君 望月志君

(2)メイクアップ者

北村 幸男君(静岡) 杉山 静一君(静岡)

スマイルBOX 山田 昭雄君

- 26日は31回目の結婚記念日となります。
村松 英昭君
- 昨日、結婚記念のバラありがとうございます。昨年クラブに復帰してから夫婦忘共忘れないようになりました。感謝。
森下 敏顯君
- 孫がサッカーで県選抜U-16に選ばれました。4月からは藤枝東高で頑張ってくれると期待しています。
松葉 義之君
- 静大大学院を卒業できました。
落合 慎悟君

スマイル累計額 478,000円

外部卓話

藤枝教育長

中山 直様



『輝く子どもたちを育むために』

1. はじめに

平成22年 世相を表す漢字一字は？
「変」（金・落・食・乱）

平成21年 世相を表す漢字一字は？
「乱」（忍・苦・耐・暗）

（通信教育会社ユーキャンのよる予想アンケートより）

- このような世相を背景に生きる今の子どもたち・・・
- 大人は何ができるか 電車の中で見たある光景（厳しい躰 がんばる母さん）

2. 子どもたちに今育てたいこと「子どもは未来からの使者」

（1）読書すること

（2）人の役に立つ喜びを知ること

「自信は『与えること』です。戦後教育は『受けること』ばかりを教えてきました。・・・『与えること』を教えると精神的な自信がついて、幸福感があつて、それが希望につながります。」（曾野綾子）

アグネス・チャンの体験

- （3）あいさつ、返事をする事
人間関係を築く最初の一步
「あいさつ」+1のススメ
- （4）自然体験、自然とかかわること（スイッチ・オフの生活）
童謡「ふるさと」が教えてくれること・・・

3. 藤枝の教育（「授業」こそ命）

- 「授業を大切にし、授業で人を育てる」「合言葉・伝統」
- 家庭、学校、地域の連携
- 学校の役割と責任
確かな学力、豊かな心、健やかな身体

（担当／増田）